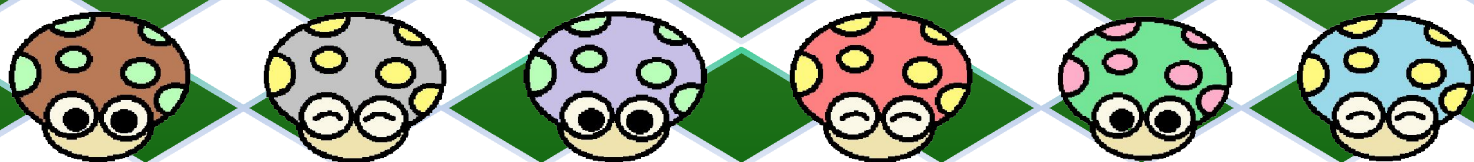
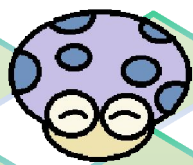


榎 ㄣ ㄣ





2015年に発見された、キノコ型の不思議な生物である「エノ」。研究者であるあなたはその「エノ」を繁殖させる実験をしています。多くの「エノ」を繁殖させた研究者は世界に論文を発表するチャンスです！「エノ」の繁殖方法と、大好物であるエサ「えの元」を上手に活用し、「エノ繁殖理論」として、世界に論文を発表するのは誰だ！？



ルールは超簡単！ボードゲーム初心者でもすぐに理解出来ます。単純なのに悩ましい、お手軽ワーカープレイスメントゲームの決定版！ゲームの度に使用出来るアクションが組替るので、リプレイ性が高いだけでなく、色々な戦略と駆け引きが楽しめます！

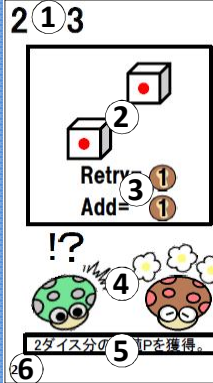
8+	2-4	20min



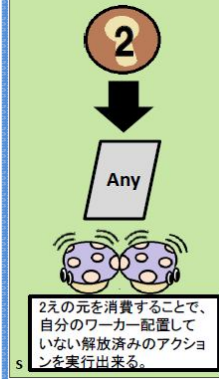
カードの説明①

複コロ 基本 カード

- 1 カードの種類
- 2 ゲームで使用する枚数



- 1 登場するラウンド又は、「ALL」
- 2 アクション効果
- 3 必要コスト
- 4 イラスト
- 5 アクションの説明
- 6 推奨ゲームで登場するROUND数



1ワーカー定員のアクションです。

アクション:「2えの元」を消費し、自分の「ワーカー」が未配置かつ解放済(縦向き)のカードから一つを選びそのアクションを実行出来る。

※この方法で、「手番順カード」のアクションは実行できません。

2

2ダイス分のPを獲得。

2えの元を消費することで、自分のワーカー配置していない解放済みのアクションを実行出来る。

分裂カード

※「ALL」ワーカーの定員数が無制限のアクション。



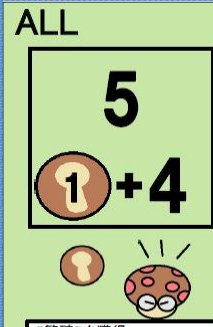
ワーカーの定員数が無制限のアクションです。

1st・2nd・3rd・4thの4ヶ所に「ワーカー」を配置可能ですが、1プレイヤーにつき1ヶ所しか配置出来ません。

アクション: 数字分の「えの元」を獲得し、次のROUNDにその「手番カード」を獲得出来ます。

次ラウンドの手番カードとえの元を獲得する。

手番順カード



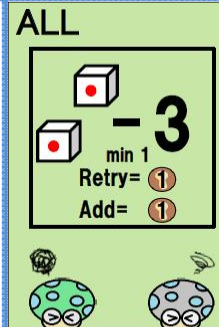
ワーカーの定員数が無制限のアクションです。

アクション: 「5繁殖P」を獲得します。

「1えの元」消費した場合「4繁殖P」を追加で獲得します。

5繁殖Pを獲得。1えの元消費で+4繁殖Pを獲得。

5繁殖カード



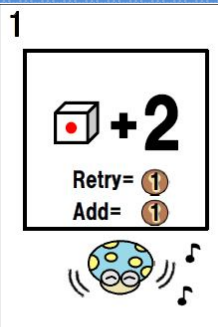
ワーカーの定員数が無制限のアクションです。

アクション: ダイスを2個振り出目の合計数に3マイナスした「繁殖P」を獲得します。

振り足し・Retry・Addが使用可能です。

2ダイス-3の繁殖Pを獲得。

2ダイス-3繁殖カード



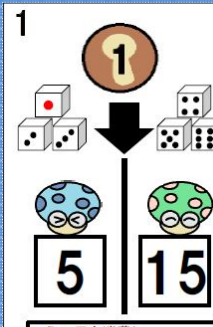
1ワーカー定員のアクションです。

アクション: ダイスを1個振り出目の合計数に2プラスした「繁殖P」を獲得します。

振り足し・Retry・Addが使用可能です。

1ダイス+2の繁殖Pを獲得。

1ダイス+2カード



1ワーカー定員のアクションです。

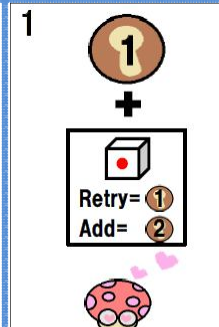
アクション: 「1えの元」を消費しダイスを1個振ります。

出目が [1][1][1] なら「5繁殖P」を獲得します。

出目が [1][2][3] なら「15繁殖P」を獲得します。

1えの元を消費し、ダイスの出目に応じた繁殖Pを獲得。

ドキドキカード



1ワーカー定員のアクションです。

アクション: 「1えの元」を獲得します。

次にダイスを1個振り出目の合計数分「繁殖P」を獲得します。

四角枠部分のみ振り足し・Retry・Addが使用可能です。

1えの元と、1ダイス分の繁殖Pを獲得。

えの元 & 繁殖カード



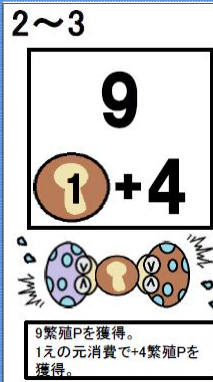
1ワーカー定員のアクションです。

アクション: ダイスを1個振ります。

出目に応じた「えの元」を獲得します。

ダイスの出目に応じた、えの元を獲得。

えの元カード



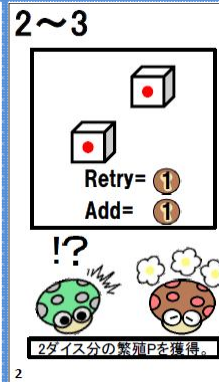
1ワーカー定員のアクションです。

アクション: 「9繁殖P」を獲得します。

「1えの元」消費した場合「4繁殖P」を追加で獲得します。

9繁殖Pを獲得。1えの元消費で+4繁殖Pを獲得。

9繁殖カード



1ワーカー定員のアクションです。

アクション: 2ダイスを振りダイスの合計数分「繁殖P」を獲得します。

振り足し・Retry・Addが使用可能です。

2ダイス分の繁殖Pを獲得。

2ダイス繁殖カード

カードの説明②

4~5

1えの元を9繁殖Pに変換
2繁殖Pを1えの元に変換
上記を3回まで自由に行う。

1ワーカー定員のアクションです。

アクション:以下の行動を最大3回まで自由に行います。

- 「1えの元」を「9繁殖P」に変換する。
- 「2繁殖P」を「1えの元」に変換する。

変換カード

4~5

1ワーカー定員のアクションです。

アクション:「12繁殖P」を獲得します。

「1えの元」消費した場合「4繁殖P」を追加で獲得します。

12繁殖カード

4~5

1ワーカー定員のアクションです。

アクション:3ダイスを振り出目の合計数分「繁殖P」を獲得します。

振り足し・Retry・Addが使用可能です。

3ダイス繁殖カード

6~7

1ワーカー定員のアクションです。

アクション:3ダイスを振り、出目の合計数分「繁殖P」を獲得します。

振り足し・Retry・Addが使用可能です。

3ダイス繁殖Gカード

6~7

1ワーカー定員のアクションです。

アクション:「16繁殖P」を獲得します。

「1えの元」消費した場合「4繁殖P」を追加で獲得します。

16繁殖カード

6~7

1ワーカー定員のアクションです。

アクション:4ダイスを振り出目の合計数分「繁殖P」を獲得します。

振り足し・Retry・Addが使用可能です。

4ダイス繁殖カード

1st

このROUNDのあなたのプレイ順番は1番です。

7ROUND終了時このカードを獲得したプレイヤーは、「End Bonus」として3ダイスを振り出目の合計数分「繁殖P」を獲得します。

1stカード

2nd

このROUNDのあなたのプレイ順番は2番です。

7ROUND終了時このカードを獲得したプレイヤーは、「End Bonus」として2ダイスを振り出目の合計数分「繁殖P」を獲得します。

2ndカード

3rd

このROUNDのあなたのプレイ順番は3番です。

7ROUND終了時このカードを獲得したプレイヤーは、「End Bonus」として1ダイスを振り出目の合計数分「繁殖P」を獲得します。

3rdカード

4th

このROUNDのあなたのプレイ順番は4番です。

7ROUND目に、このカードを獲得しプレイヤーは、「End Bonus」として「1えの元」を獲得します。

4thカード

ゲーム中「えの元」の獲得や消費が発生した場合に使用します。

「マーカー」を動かして個数を管理します。

0を表示する場合「マーカー」を個人ボードからどかしてください。

ボードの最大表示は14ですが「えの元」の獲得数に上限はありません。

振り足し: 出目の合計数を計算した後 が存在する場合 以外が出るまで振り直す。この時振り直した出目を全て合計数にプラス出来る。

Retry: 必要な数の「えの元」を消費し、該当のアクションをやりせる。
(回数に制限はありません)

Add: 必要な数の「えの元」を消費し、該当のアクションをもう一度追加実行出来る。
(1アクションにつき1回のみ可能)

榎コロ

ゲームデザイン

原案:榎本雅史

アレンジ:あおきのこ

イラスト:こころ

あおきのこGAMES 2015

内容物一覧

- ダイス 4個
- ワーカー駒 12個(各色3個)
- 個人ボード 4枚
- 手番カード 4枚
- 基本カード 4枚
- ROUND1カード 3枚
- ROUND2~3カード 3枚
- ROUND4~5カード 3枚
- ROUND6~7カード 3枚



ダイス



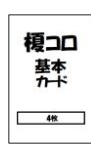
ワーカー駒



個人ボード



手番カード



基本カード



ROUND1カード



ROUND2~3カード



ROUND4~5カード



ROUND6~7カード

※繁殖P(点数)を記録する物を別途用意して下さい。(筆記用具やチップ等)

ゲームの目的

研究者であるあなたは、「エノ」を繁殖させる実験をしています。効率の良い繁殖方法を発見し「繁殖P」(勝利ポイント)を集め世界に論文を発表する事が目的です。ただし論文を発表出来るのは一番「繁殖P」を集めた一人だけなのです。

ゲームの準備

コンポーネントの準備

- ① 各プレイヤーは、「ワーカー駒」一色3個と「個人ボード」を受け取ります。
 - ② 表を向けた「基本カード」4枚を**縦向き**状態で並べます。(緑のカードです)
 - ③ 全ての「ROUNDカード」を種類毎にシャッフルし裏向きのまま2枚ずつ選択します。残ったカードは今回のゲームでは使用しません。
【重要】初めてこのゲームをプレイする場合、「ROUNDカード」の左下に数字が書かれているカードを選択し④⑤の時、裏を向けず数字の順に「ROUNDカード」を並べて下さい。これが推奨セットです。
 - ④ ③で選択した「ROUND1カード」2枚を「基本カード」の右側に表を向けて並べます。
 - ⑤ 裏向きに伏せてある「ROUNDカード」の【2~3】【4~5】【6~7】の順で各2枚ずつ「基本カード」の下側に表を向け、カードを**横向き**で並べます。これを未開放状態と呼びます。
- 以上で準備は完了です。

①



テーブル ②



④

⑤

③

ゲームの遊び方①

ゲームの流れ

1. スタートプレイヤーから時計回りに、手番の決定と初期資源を獲得します。
2. 「手番カード」1stから順番に「ワーカー」を配置しアクションを実行します。
3. 全てのプレイヤーがアクションを2回行くとROUNDが終了します。
ROUNDの終了手順を行います。
4. 新たなROUNDの開始です。2へ戻ります。
5. ROUND7が終了した場合、End Bonusとゲームの終了手順を行います。 ※左の数字と緑枠の大項目の数字が一致しています。
6. 全てが終了した時点で、一番「繁殖P」を獲得した人が優勝です！

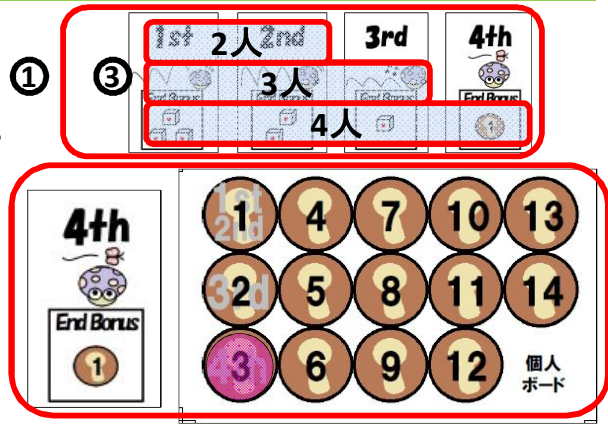
1.手番の決定と初期資源

- ① プレイヤー人数に関係なく、「手番カード」を4枚用意します。
- ② 一番最近「明石ボードゲーム広場」に行った人か、適当な方法でスタートプレイヤーを決めます。
- ③ スタートプレイヤーから時計回り順に好きな「手番カード」を獲得します。ただし、この段階で獲得可能な「手番カード」は1stから昇順にプレイヤー数と同じ順番の「手番カード」までです。

二人用・三人用の追加ルール:

「手番カード」で一番遅い順番を獲得したプレイヤーは、誰も使用していない色の「ワーカー駒」一個を追加で獲得します。

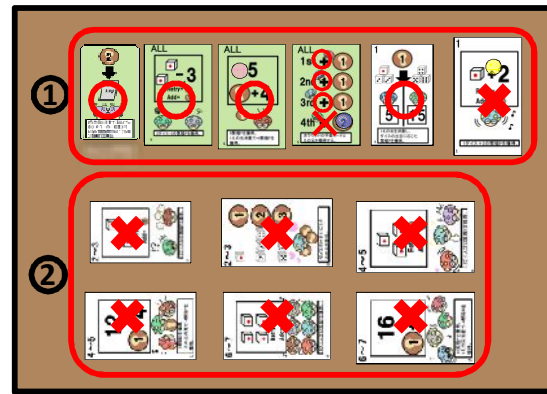
- ④ 獲得した「手番カード」と、「個人ボード」上に描かれた、順番が同じ「えの元」の上に「ワーカー駒」一個を配置します。これが初期資源となります。「個人ボード」に配置した「ワーカー駒」はこれ以降「カウンター」と呼び、残りの二個を「ワーカー」と呼びます。
- ⑤ 「2.ワーカーの配置とアクションの実行」へ進みます。



※二人用・三人用の追加ルールで受け取った「ワーカー駒」は「NPCワーカー」と呼びます

2.ワーカーの配置とアクションの実行

- ① 「手番カード」の「1st」プレイヤーから「ワーカー」の配置を行います。「ワーカー」を配置するには以下のルールがあります。
 - ・解放状態のカードであること。(縦向きカード)
 - ・「ワーカー」「NPCワーカー」が未配置であること。(ALLのカードは除く)
- ② 未開放状態(横向き)のカードは「ワーカー」を配置出来ないアクションです。
- ③ 「ワーカー」を配置後アクションを実行します。「2-A.アクションの流れ」を参照
- ④ アクション終了後、「NPCワーカー」を獲得していプレイヤーは①のルールに従って「NPCワーカー」を配置します(アクションは出来ません)。手番を次のプレイヤーに交代します。
- ⑤ ①~④の手順を全てのプレイヤーが2回行った時点でラウンドが終了します。
- ⑥ 「3.ROUNDの終了」へ進みます。



2-A.アクションの流れ



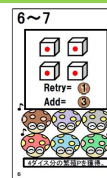
- ① 四角い枠の中に描かれた数のダイスダイスを振ります。その後出目の合計を計算します。
- ② その中に「**+**」が含まれる場合、「振り足し」する事が可能です。
- ③ 「振り足し」分の出目を合計数にプラスします。
- ④ 「確定」「Retry」「Add」の中から一つを選択します。
- ⑤ 手番終了です。次のプレイヤーと交代します。

振り足し: 振ったダイスに「**+**」が含まれる場合出目の合計数を計算した後全ての「**+**」を振り直します。「**+**」以外の出目が出るまで繰り返します。その後、振り直したダイスの出目全てを合計数にプラスする。

確定: 出目の合計数分「繁殖P」を獲得する。

Retry: 記述された「えの元」を消費する事で四角い枠のアクションを初めからやり直す事が出来る。(回数に制限はありません)

Add: 出目の合計数を「確定」し「繁殖P」を獲得します。その後、記述された「えの元」を消費する事で、四角い枠のアクションをもう一度行う事が出来る。(1アクションにつき1回のみ可能)



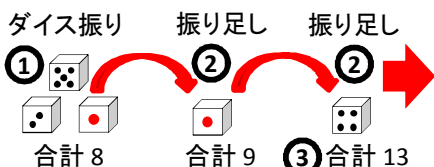
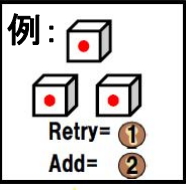
- ① 四角い枠の中に書かれた数字分の「繁殖P」を獲得します。
 - ② 「1えの元」を消費した場合、「4繁殖P」を追加で獲得します。
- ※消費可能な「えの元」は1だけです。

図にある**赤枠**4箇所「ワーカー」を配置出来ますが、以下のルールがあります。

- ・ROUND中1プレイヤーにつき1枠のみ配置出来る。
- ・「ワーカー」「NPCワーカー」が未配置であること。



したがって**赤枠**のどれかに「ワーカー」を配置したプレイヤーは、ROUND終了まで、このカードに「ワーカー」を配置出来ません。また「ワーカー」が配置済みの**赤枠**にも配置出来ません。



確定: 「13繁殖P」を獲得し手番終了

Retry: 「1えの元」消費しダイス振りからやり直す(無制限)

Add: 「13繁殖P」を獲得後「2えの元」消費し、もう一度ダイス振りを行う(1回制限)

※各カードの詳細は「カードの説明」を参照してください。

3.ROUNDの終了

ROUND1からROUND6の終了手順です。

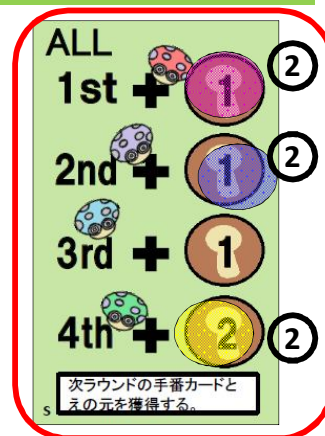
ROUND7の終了手順は「5.ROUND7の終了手順」を参照してください。

- ① 全てのプレイヤーは、一度「手番カード」を手放します。
- ② 「手番順カード」に「ワーカー」を配置しているプレイヤーは、該当の「手番カード」を獲得します。
- ③ 「手番カード」を獲得していないプレイヤーは、1stの「手番カード」(いなければ2nd)を獲得しているプレイヤーの右隣から、時計回り順に好きな手番カードを獲得します。
(全てのプレイヤーは必ず手番カードを受け取ります。)
- ④ 全てのプレイヤーは自分が配置した「ワーカー」を全て回収します。

二人用・三人用の追加ルール:

「手番カード」で一番遅い順番を獲得したプレイヤーは「NPCワーカー」も追加で回収します。

- ⑤ 「4.新たなROUNDの開始」へ進みます。



4.新たなROUNDの開始

- ① 新たなROUNDを開始する直前に、そのROUNDの「ROUNDカード」を縦向きにします。これを解放(状態)と呼びます。

解放された「ROUNDカード」は、このROUNDから使用出来ます。

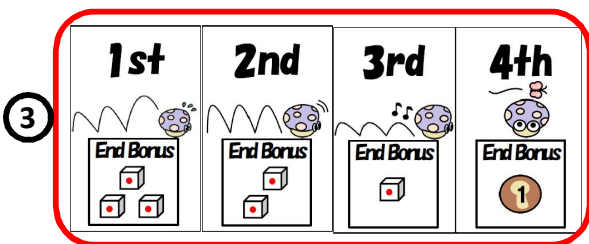
※解放する、カードはROUND毎に1枚だけです。

- ② 「2.ワーカーの配置とアクションの実行」へ戻ります。



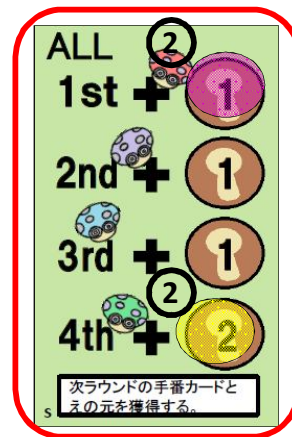
5.ROUND7の終了手順

- ① 全てのプレイヤーは、一度「手番カード」を手放します。
- ② 「手番順カード」に「ワーカー」を配置しているプレイヤーは、該当の「手番カード」を獲得します。それ以外のプレイヤーは、「手番カード」を獲得出来ません。
- ③ 「手番カード」を獲得している、各プレイヤーは、4thから1stの順に、カードに描かれた「End Bonus」を獲得します。



1st・2nd・3rd: 四角い枠のイラスト分ダイスを振り、出目の合計数分「繁殖P」を獲得します。Retry・Addが**使用出来ません**。

4th: 「1えの元」を獲得します。



- ④ 次に全てのプレイヤーは「えの元」の残数を比較します。「えの元」の残数が一番多い人が1位です。残りのプレイヤーも自分の順位を確認します。同数の場合はお互いが、その順位となります。(次の順位は繰り下がります。)ただし、「えの元」の残数が0のプレイヤーはボーナスをもらえません。

例. プレイヤーA 「4えの元」 1位
 プレイヤーB 「4えの元」 1位
 プレイヤーC 「3えの元」 3位
 プレイヤーD 「1えの元」 4位

人数	1位	2位	3位	4位
3人・4人	4ダイス	3ダイス	2ダイス	1ダイス
2人	4ダイス	2ダイス		

- ⑤ 4位から1位の順に、表に書かれた数のダイスを振りダイスの合計数分「繁殖P」を獲得します。
- ⑥ 全てのプレイヤーは、獲得した「繁殖P」を確認します。一番多い人が勝利となり、世界に論文を発表した優秀な研究者として残りのプレイヤーに祝福してもらいましょう。同数の場合は論文を合作したとしてどちらも勝利となります。

「エノ」とは

「エノ」とは2015年4月某日、西明石駅周辺で発見されたキノコ型の不思議な生物であり水槽程度の入れ物があれば飼育する事が可能である。
まだ沢山の事が解明されていない為世界各国で様々な研究が進められている。

分類と名称： 哺乳類キノコ科ベニテングダケ属 日本語で「エノ」

生態： 多くは陸に生息するが、川に生息する種類や、海に生息種類も存在する。

形態： 肌の色は人間に近い肌色をしており、体毛に覆われており全体的に白色に見える。

個体差があり若干の色見の違いがある。

特徴的なのは頭の部分であり、多種多様な色の頭部が存在する。

楕円の部分は模様ではなく感情によって色が変わる特徴がある。

声帯は存在せず感情の表現方法として、頭の模様の変化と体全体を使って表現する。

耐久力は低く急激な温度差などがあると生命を落としてしまう危険性がある。

繁殖方法： メスとオスに分かれており、カカオを主成分とした食べ物「えの元」を用いた独特な生殖行為により繁殖する。

生まれた時の体長は約5mm程度大きさが成体になると150mmを超える大きさのものまで存在する。

誕生する胎児の数は4匹から30匹と環境によりかなりの差がみられる。

課題： 安定した繁殖方法を解明しなければ絶滅する恐れがある為、適切な繁殖方法を早急に究明しなければいけない状態である。



クレジット

原案

榎本雅史

ゲームデザイン:

あおきのこ

イラスト:

こころ

テストプレイ:

TRICK PLAYの皆様

ディスカバリーゲームズの皆様

大人のボードゲーム部の皆様

明石ボードゲーム広場

<http://akashiboardgame.jimdo.com/>

ゲームに関するお問い合わせは、
あおきのこGAMES HPへお願いいたします。

<http://aokinokogames.jimdo.com>

